

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	Cell Exercise における力学とバイオの統合
研究代表者	金子 真（大阪大学・大学院工学研究科・教授）
研究期間	平成27年度～平成30年度
審査結果の所見	<p>本研究は、Cell Exercise という機械工学と生物（細胞）工学が連携した新しい概念に基づく独創性の高い提案であり、予備実験の結果からも大きな研究成果が期待できる。力学的擾乱に対する細胞の静力学的特性は計測可能であるが、筋細胞などでは特に動的力学特性が問題になる。</p> <p>現時点では細胞内部の構造と力学的特性の関係などいまだ十分には解明されていない部分もあるが、世界的にも例を見ない新しいアプローチであり、再生医療にもつながる重要な研究であると判断でき、本研究を基盤研究（S）として推進することが妥当であると判断した。</p>